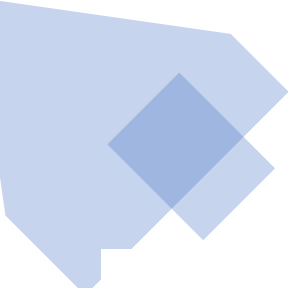


大井町防災まちづくりの会活動報告





神奈川県足柄上郡大井町 人口17,274人

男性 8,559人

女性 8,715人

世帯数 7,407世帯

(令和5年6月30日現在)

**100年前関東大震災の震源地とされる
神奈川県西部の町「大井町」**





発足時の勉強会



地域の震災研究家による
「大井町の歴史と被災内容」
の勉強会

相模湾からの断層が見学できる「弓張の滝」を 「防災塾だるま」の荏本塾長始め会員よる勉強会開催



勉強会后「防災塾だるま」と
大井町防災まちづくりの
会員同志の懇親会開催

(2009年5月)



大井町防災まちづくりの会主催
「学生による防災消火訓練実施」



大井町主催 ふれあい広場

大井町防災まちづくりの会は
学生に防災活動参加へのPR



大井町主催 ふれあい広場

大井町防災まちづくりの会は
「防災アドバイスとして非常食の試食」



大井町主催 ふれあい広場

大井町防災まちづくりの会は
「家具転倒防止を模型により説明」



地域の中学校で防災
出前講座

家具固定方法の講習



ガラス飛散防止取付体験 ①

大井町防災まちづくりの会の会員による東日本大震災に
ボランティアに参加 2011年



足柄上郡大井町の関東大震災の 震災遺構を町歩きで確認

歩こう会スナップ写真

2022年1月16日
大井町防災まちづくりの会



① 河岸の足利寺震災後開宮恒さんが発起人となり命の遺産である貯水池と配管で河岸・市場・河原に給水しその後役場・学校・製紙工場・日枝神社・福徳病舎等に給水した。人々が喜ぶ内容が碑に記載あり



② 今でも綺麗な水が流れる説明 大津・開宮氏

③ 会子の開宮邸裏「震災記念碑」前で開宮さんから説明を受ける。震災当日とその後の様子の記載有



④ 「震災記念碑」あえて真の字を選じた
(私有地のため一般の見学は不可)



⑤ 「震災前記念碑」説明清水氏碑には「人生一日も欠くべからざるは飲料水なり」と記載 山の中腹には今でも横井戸水を管理している貯水池あり

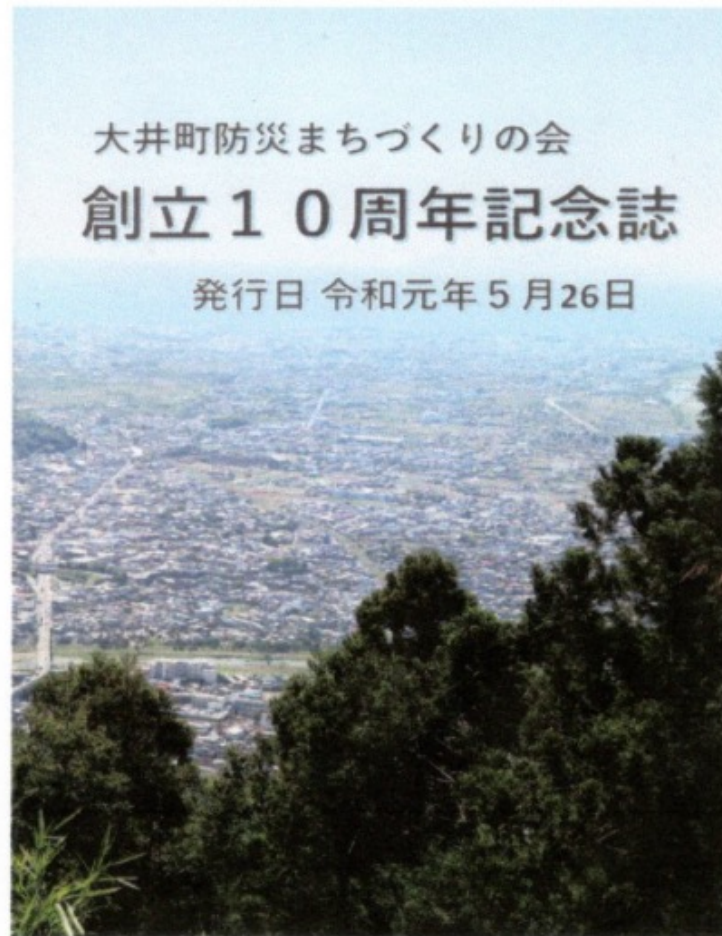


⑥ 震災時の避難所内説明内田氏
恒文内田房可さん当時17才の体験記

大井町防災まちづくりの会 10周年記念誌発行 2019年

大井町防災まちづくりの会 創立10周年記念誌

発行日 令和元年5月26日



ローリングストックBOX兼ソーラークッカー 防災とSDGsの二刀流



災害時に備えて普段からソーラークッカーを愛用する事で省エネとSDGsに貢献



大井町防災まちづくりの会と
小田原紙器工業株式会社で
共同開発し商品化に成功
特許出願中（近日発売予定）



防災ローリングストックBOX



SDGsソーラークッカーに3分で変身

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

大井町のSDGsパートナーシップに登録



小田町長によるパートナーシップ授与式



大井町マスコット「すいっぴー」

簡易「感震だるま」設置の薦め

(地震による火災の70%は電気による火災です)

地震により「だるま」が落下してブレーカーのレバーを下げ電気を遮断します



標準タイプの分電盤取付方法



分電盤が通路上の場合はセパレートで取付



カバー分電盤取付方法



団地等は直接壁に取付

簡易「感震だるま」の材料と組立



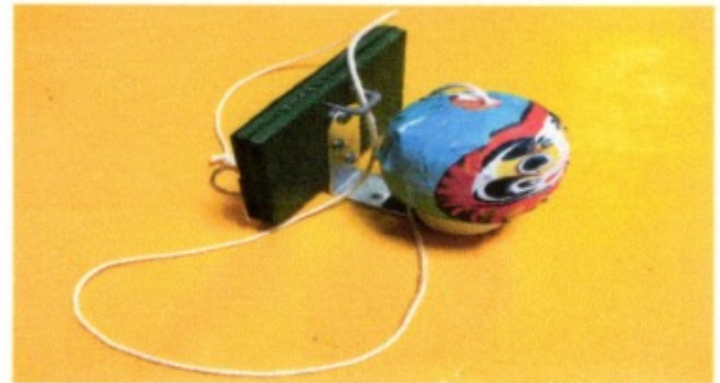
①材料確認 台板は(60X80mm位)



②カプセルで落下用重し組立



③台座にステップルとL金具取付



④だるまの紙を貼り完成